

【ともに生きる社会かながわ憲章 朗読】

あれから 10 年の月日が経ちました。

お亡くなりになった 19 名の方々には、いろいろな個性を持った人生がありました。

- ① 新年会で和太鼓演奏を楽しんでいたあなた
- ② 風邪を引かないよう気をつけていたあなた
- ③ 寒い冬のラーメンを楽しみにしていたあなた
- ④ 家族と一緒に美味しそうにお寿司を食べていたあなた
- ⑤ 満開の桜の中で甘酒を楽しんでいたあなた
- ⑥ お天気がよい日の日向ぼっこが好きだったあなた
- ⑦ さくらんぼ狩りを楽しんでいたあなた
- ⑧ 行事でご家族と一緒に美味しいお弁当を食べていたあなた
- ⑨ 小学生と二人三脚をがんばったあなた
- ⑩ 素敵な作品作りをしていたあなた
- ⑪ お母様から素敵な水着をもらって喜んでいたあなた
- ⑫ とても我慢強くて笑顔が素敵なあなた
- ⑬ ジャガイモ掘りをがんばっていたあなた
- ⑭ 夜空を彩る花火を仲間と一緒に見上げていたあなた
- ⑮ 盆踊りの炭坑節が好きだったあなた
- ⑯ 家族からの誕生日プレゼントを楽しみにしていたあなた

⑰ お祭りの屋台が大好きだったあなた

⑱ 大晦日の年越しそばを楽しみにしていたあなた

⑲ いつもご家族と新年を迎えていたあなた

あなた方のことを、私たちは決して忘れません。

そして、この悲しみを大きな力に変えて、ともに生きる社会を実現していきます。

そうした思いを込め、「ともに生きる社会かながわ憲章」を朗読いたします。

ひとつ

一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします

ひとつ

一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します

ひとつ

一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します

ひとつ

一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます